

<p><b>第 3-4 回</b> (2007.4.27, 5.11)</p>	<p><b>分類の一般概念と分類理論</b> 黒橋禎夫教授 (情報学研究科)</p>
<p>【第 3 回：講義】2007.04.27</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 分類の演習 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 各自の基準で分類してみよう。</li> </ul> </li> <li>2. 分類の諸問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 個々の存在は、必ず、他のものと似た要素を持っており、様々な観点からの分類の対象となりうる。(家族的類似性)</li> <li>➤ 分類は、視点・観点によって異なる 「1.分類の演習」の結果も異なる</li> <li>➤ 分類と、言葉・文化との関係 言葉は概念と結びついている、文化が概念、ひいては分類に影響を与える</li> <li>➤ オーバーゾーニング(従来の区分を越えた、新しい区分範囲を切り開こうとするもの。)</li> </ul> </li> <li>3. 動植物の分類 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 動植物の分類...人類の歴史上最初の分類 人為分類(アリストテレス) 類型分類(アダンソン) 系統分類(ラマルク)</li> </ul> </li> <li>4. 図書の分類 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 18 世紀までは、個人規模の独自の分類で図書が配架されていたが、公共図書館設立などの社会的背景により、より普遍性のある分類法が必要となった。</li> <li>➤ 十進分類法(デューイ、国際、日本)、コロン分類法(ファセット)</li> </ul> </li> <li>5. ことばの分類 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 専門用語のシソーラス 自然言語処理でのシソーラスの利用 自然言語の類似度を測るのに使う</li> </ul> </li> <li>6. 分類の数学的理論 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 数量分類学 特徴ベクトル、類似度、クラスタ分析</li> <li>➤ 情報検索での応用 転置インデックス、語の頻度 (TF) と全文書数 (IDF)</li> </ul> </li> </ol> <p>【第 4 回：演習】2007.05.11</p> <p>演習課題</p> <p>問題 A</p> <p>問題 B</p> <p>問題 C</p>	